



学校だより

第1号

発行日

令和5年4月6日

# 大有

教育目標

かしこく  
なかよく  
たくましく

大有小のホームページ毎日更新中(大有ショット) <http://www.taiyuu.els.asahikawa-hkd.ed.jp/>

## 令和5年度のスタートにあたって

～大有っ子の Well-being を育むために～

校長 佐藤 潤一

柔らかな春の風に背中を押されながら、笑顔の大有っ子たちが学校に戻ってきました。どの子も一つずつ進級し、教職員と元気に挨拶を交わして新しい教室に向かう表情からは、これから始まる学校生活への期待や意欲に満ち溢れている様子がとても感じられました。午前10時から令和5年度入学式を行い、新1年生45名が大有っ子の仲間入りをして、全校児童265名で新年度をスタートしました。

保護者の皆様には御案内しておりましたが、この4月から全国の小・中学校で児童生徒及び教職員にマスクの着用を求めないことが基本となりました。3月まで校内でマスクを着けることが習慣となっていましたので、マスクを外すことに不安を感じるお子さんもいることと思います。学校ではマスクの着脱を強制することはありませんので、ご家庭でもマスクの着脱についてお子さんの気持ちをよく聴いていただき、アドバイスをしていただけると幸いです。

さて、学校における感染症対策の制限が緩和されたことを受けて、令和5年度の大有小学校では、子供たちの人間性や社会性を一層育むために、子供同士の関わり合いを大切にした教育活動を進めてまいります。変化の激しい社会を生き抜くためには、自分一人では解決できないことも周りの人々と協働して乗り越えていく力が必要です。また、多様性が尊重される社会の創り手となるためには、互いの個性を理解し認め合う寛容性も大切です。これらは小さい子供の頃から様々な人々と触れ合う中で学び、育まれるものだと考えます。社会がコロナ禍から回復し、ポスト・コロナ時代を迎えるこの時期だからこそ、子供同士が信頼で結ばれ共により良く生きる姿(Well-being)をどの子にも実現できる教育を進めてまいりたいと考えています。新メンバーを加えた本校の教職員が「新チーム大有」となって、大有っ子と一緒に新たな大有小学校づくりに取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も一層の御理解とお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。